

# 「誠」



平成29年  
7月20日第8号  
発行者  
校長 山口 浩史

重点目標 自分の考えを持ち、表現する力を持った生徒の育成

## 1学期が終了！どんな夏休みにしますか？

空梅雨かと思ったら局地的な豪雨があり、その後いきなり猛暑日が続くという異常な天候に左右された今年の1学期が終わりました。振り返れば、体育大会や中体連大会など生徒の皆さんが、素晴らしい活動を積み上げてくれたおかげで、充実した1学期だと思います。お疲れ様でした。

さて、楽しい夏休みを皆さんはどう過ごすのでしょうか？夏休みを迎えるに当たって、私から次の言葉を贈ります。考えてみてください。

私たちは、みんな「使えば減るもの」と「使うと増えるもの」を持っています。「使えば減るもの」は「お金・鉛筆・消しゴム」などです。「使うと増えるもの」は、・・・いろいろあると思いますが、たとえば

「身体」・・・使えば（鍛えれば）体力や身に付けた技能が増えていきます。

「頭」・・・使えば知識やいろいろな考え方が増えていきます。

夏休みの部活動や学習で、ぜひ存分に使って欲しいと思います。でも、もう一つ使って増やして欲しいものがあります。それは、「心や気持ち」です。

「親切にする心」を使うと「やさしい心」が増えてくるでしょう。

「辛い時に頑張る心」を使うと「忍耐力」が増えてくるでしょう。

「思いやる心」を使うと「気を配れる心」が増えてくるでしょう。

だけど、使って欲しくない心や気持ちもあります。それは、「憎む心」や「嫌う心」「無関心な心」です。

「心」が命じなければ、「身体」も「頭」も使うことができません。心は、周りからは見えませんが、お互いの「顔の表情」や「言葉遣い」で感じることができるのではないのでしょうか。ぜひ、この夏休みに「身体・頭・心」を良い方向で使ってください。中期重点目標の「進んで学習」「進んで挨拶」「進んで部活」の達成、そして、「誇れる広中へ」一步一步近づいていき、将来の自分の夢の達成へとつながる夏休みにしてください。

## 先輩たちも高校で活躍しています！

広川中学校の陸上部出身の先輩たちが、高校でも活躍しています。

7月4日(火)にインターハイ出場を決めた卒業生と一緒に教育長を表敬訪問しました。インターハイに出場するのは、三潞高校2年の真鍋彩奈さん(写真右から2人目・カヌー)と八女工業高校2年の榊翔太さん(写真右から3人目・400mリレー)と小倉東高校2年の中島健翔さん(400mリレー)の3名です。陸上は、7月28日(金)から山形県天童市のNDソフトスタジアム山形で、カヌーは、8月7日(月)から山形県西川町の月山湖カヌースプリント競技場で開催されます。健闘を祈ります。また、本校卒業生の八女工業高校土木科2年の蒲池崇司君は、測量競技部門で優勝し福岡県代表として九州大会に出場しました。おめでとうございます。



## 文化的活動でも頑張っています！

7月14日(金)には、和楽器部の皆さんが、筑後特別支援学校の寄宿舎夏祭りに参加して、見事な演奏を披露しました。会場も大変盛り上がり、主催者や参加者から感謝の言葉をいただきました。お疲れ様でした。

また、7月15日(土)は、3年3組の桑野光瑠さんが、広川中代表として第67回「社会を明るくする運動」八女地区青少年弁論大会に参加しました。『言葉から見た「生きるチカラ」』の演題で、余命少ない方々やいろいろな苦境を乗り越えた方々がかかれたメッセージの読み聞かせという活動を自分が体験して感じた「言葉を伝える大切さ」を訴えたすばらしい弁論でした。文化的活動でも広川中学校の皆さんの活躍を見たり、聴いたりすることができ、うれしい時間でした。

